

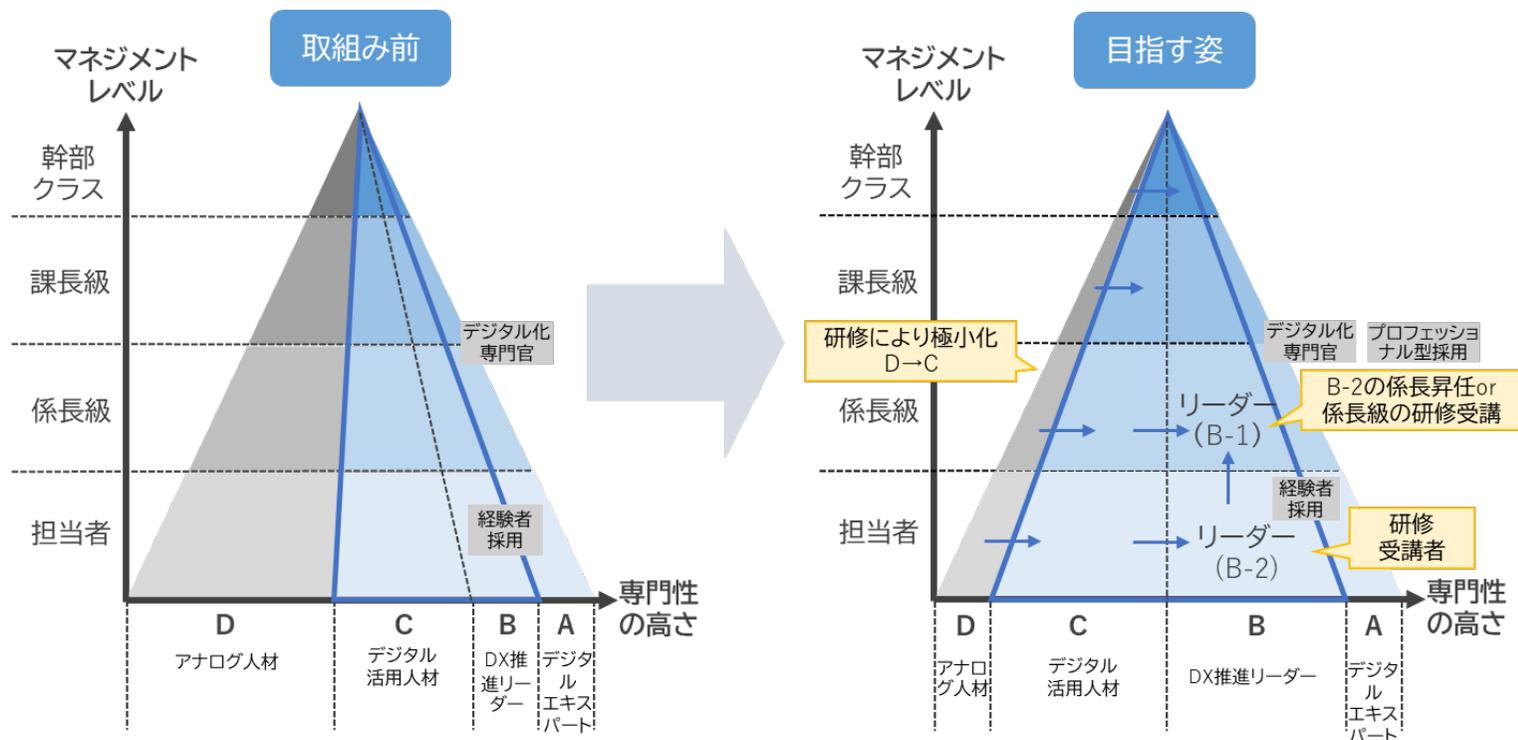
## 9 「働き方改革ロードマップ2.0」に沿った全庁的なDX人材の育成【兵庫県神戸市】



➤ 係長級以下、管理職向けにそれぞれ人材育成支援を充実化。全職員のデジタルリテラシーの底上げから、DX推進の中心となる人材まで、目的に応じた個別研修を実施。

### 事業の概要

- 令和4年度から、全職員を対象とした「**DX基礎研修**」を実施し、デジタルを活用できる人材の裾野を広げるとともに、「**DX推進リーダー育成研修**」を実施し、各所属のDXの中心となる人材を育成。管理職向けにも階層別研修でマインドセットを実施するなど、目的に応じた個別研修を実施。



## 9 「働き方改革ロードマップ2.0」に沿った全庁的なDX人材の育成【兵庫県神戸市】

### 事業効果



- DX推進において、各所属の中心となる職員を育成することで、各所属での業務改善事例が生まれている。
- 他の自治体から、当該事業に対して、問い合わせ・講演等の依頼を受ける機会が増えており、自団体以外への波及効果も出始めている。

### コスト



※主にシステム導入等に係るコストを記載

イニシャルコスト ※税抜	－円	ランニングコスト(1年あたり) ※税抜	約5,770千円
(内訳)	－円	(内訳) ・研修費 ・通信料	約5,680千円 約90千円
(備考)		(備考)	



### スケジュール

検討開始から導入までの期間 (事業ごとに異なる)

#### スケジュールの内訳

例：DX推進リーダー育成研修の場合

R3.9～ 検討・事業者調整開始

R4.5～ 庁内周知

R4.6～ 研修開始

※以降各年度ごとに実施



### サービス提供事業者等

サービス提供事業者	－
サービス名	Udemy Business
運用形態	クラウド型サービスを利用 (補助学習教材として利用)
その他参画主体	日本マイクロソフト株式会社 (包括連携協定に基づく研修支援)



担当部署 神戸市企画調整局デジタル戦略部

電話 －

メール digital\_kikaku@office.city.kobe.lg.jp

## 9 「働き方改革ロードマップ2.0」に沿った全庁的なDX人材の育成【兵庫県神戸市】



(総務省)

### 取組の経緯・きっかけを教えてください。

令和2年9月に策定した「行財政改革方針2025」において「スマート自治体」を目指すことを掲げています。

人口縮減時代においても持続可能な自治体経営・行政サービスを提供できる「スマート自治体」を実現するためには、**デジタル技術を積極的に活用して業務変革を進めることができる職員が必要不可欠**と考えており、「働き方改革ロードマップ2.0」に沿って全庁的なDX人材の育成と配置に取り組んでいます。



(神戸市)



### 近況や工夫している点を教えてください。

デジタル人材確保に関しては、**ジョブ型雇用として民間求人サービスを活用し任期付職員を採用しているほか、民間経験者を係長級・課長級のポジションで期限の定めのない職員として登用するプロフェッショナル型採用**を行っており即戦力を募集しています。

人材育成に関しては、必要とされる専門性・レベルに応じて階層別に研修を実施していく方針で、**令和4年度からDX推進の中心となる人材を育成するための研修等を開始**しました。

今後DX推進リーダーとなる層を拡大するには、**育成後のキャリアパスの確立や全職員のデジタルリテラシー向上による底上げが課題**と考えています。



### 研修の対象人数、日数、研修時間、科目等を教えてください。

**参考資料（DX推進リーダー育成研修）**に詳細を記載していますので、ご確認ください。



### 取組にコストはかかりましたか。

外部人材確保に係る費用として**募集経費、報酬**などを要しています。  
また、DXに関する**外部講師研修及びeラーニング利用費用**を要しています。



## 9 「働き方改革ロードマップ2.0」に沿った全庁的なDX人材の育成【兵庫県神戸市】



(総務省)

他自治体からよく質問されることを教えてください。

### ① デジタル人材育成にかかる研修の具体的な実施内容

庁内のデジタルリテラシー向上のための、すそ野を広げる研修から、後述の参考資料に記載したようなDX推進に向けた研修まで幅広く実施しています。

### ② 職員の知識レベルの把握方法

現状、本市においても、知識やスキルレベルの客観的な把握は難しいと考えており、**研修受講に基づくDX推進リーダーを認定する制度の構築や資格データの一元管理等、DX人材に関するデータ管理と活用を検討中です。**

### ③ デジタル人材のキャリア形成

庁内公募によりDX人材育成コースに配属した職員や上記研修により育成したデジタル人材については、習得したスキル等を活かし庁内の様々な分野でDXを推進していくことを期待していますが、**処遇への反映や具体的なキャリアパスの提示等については本市でも課題**となっています。



(神戸市)



今後の展望を教えてください。

人事・研修・業務改革・デジタルといった**各部門横断的に設置しているプロジェクトチーム**において、人材育成にかかる課題等について定期的に進捗を確認し、全庁的なDX人材の育成に向けて取り組む予定です。



☆担当：神戸市 企画調整局 デジタル戦略部 ☆

【参考情報】 神戸市人口：151.1万人（令和5年1月1日現在）

関連URL：神戸市のDX（<https://www.city.kobe.lg.jp/a08691/dxtop.html>）

デジタルを活用した業務改革>働き方改革（業務改革）ロードマップ（<https://www.city.kobe.lg.jp/a69423/roadmap.html>）

## 9 「働き方改革ロードマップ2.0」に沿った全庁的なDX人材の育成【兵庫県神戸市】

### 参考資料(DX推進リーダー育成研修等)

#### DX推進リーダー育成研修

研修概要	
(1)研修内容	包括連携協定を締結している日本マイクロソフト㈱と連携し、デジタル技術の習得及び現場のニーズに適した改善策を提案・実行できる現場のDXの中心的役割を担う人材を育成することを目的に実施
(2)対象人数	60名/年
(3)実施日程	講義、グループワーク、自主学習あわせて50h程度のボリューム
(4)プログラム	①基礎知識 (DXの意味、用語、神戸市のネットワークセキュリティ) ②テクニック (Microsoft Power Platform、kintone等のハンズオン) ③トレンド (DXの事例、最新の働き方) ④マインド (心構え、サービスデザイン思考、BPRの手法) ⑤業務改善の実践 ⑥自主学習 (LinkedIn or Udemy Business)

#### 学習ツール

Power Apps  
アプリ作成

Power Automate  
タスク自動化

Power BI  
データ分析

Power Virtual Agents  
チャットボット

Microsoftは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。各アプリケーションの名称は、米国Microsoft Corporationが開発したアプリケーションの名称です。

1

#### DX推進リーダー育成研修

○マインドセット  
MS常務執行役員佐藤様講和



○デザイン思考ワークショップ



○アプリケーション作成ハンズオン



2

#### Kobe Tech Leaders (KTL)

ICTを業務改善や市民サービス向上に活かすことを目的に、Office等の基礎的な技術からクラウド等の最新技術まで、職員のレベルやニーズに応じた研修コンテンツを職員が中心となって開催したり、職員同士でICTツールの使い方や活用方法についての情報交換を行っている



○KTL Learn R4開催実績

開催日	テーマ
6月22日	行政手続きスマート化説明会
7月27日	Teamsの正しい使い方
8月24日	ドローンはいかがですかセミナー
8月29日	kintoneQ&A
9月9日	Excel使いこなし講座
9月28日	やってみよう!Power Query
10月14日	はじめてのPower Apps
10月26日	バワボで動画を作ろう
2月22日	Power Appsで現場検査アプリを作ってみよう
3月10日	ドローンの庁内活用事例紹介
3月22日	バワボでつくる「伝わるロゴ・アイコン」

○イベントをターゲット別にフォーマット化し、決まった曜日に開催

#### 「KTL Learn Advance」(第4水曜)

ICTに詳しい職員の更なる技術力アップを目的としたハンズオンセミナー業務への応用を見据えたテーマの習得を目指した内容

#### 「KTL Learn」(第2金曜)

業務ですぐに使える技術をハンズオン(実際にPCを操作して)で学ぶセミナーICTにあまり詳しくない方でも気軽にご参加いただける内容

#### 「KTL Work」(第3金曜)

Officeやkintone等による業務改善ツールの開発作業を集中して行いつつ、わからないことがあればその場で詳しい職員に質問できる場(もくもく会)

3